

# ふれあい新聞

秋号



令和元年9月17日 やはぎ苑敬老会 表彰式並びに祝品贈呈式

発行日 令和元年10月1日 第75号  
発行 社会福祉法人 瑞穂会  
ふれあい新聞編集部  
本部 〒444-0936  
岡崎市上佐々木町字大官49番地  
TEL (0564) 34-3666  
FAX (0564) 34-2347

## やはぎ苑 全体会議

日時 令和1年 9月27日

場所 やはぎ苑 デイサービス

全体会議で、身体拘束廃止について研修がありました

特別養護老人ホームやはぎ苑 身体拘束廃止に関する指針

「身体拘束廃止に向けての基本指針」

(1) 身体拘束の原則禁止

当施設においては、原則として身体拘束及びその他の行動制限を禁止します。

(2) やむを得ず身体拘束を行う場合

本人又は他の利用者の生命又は身体を保護するための措置として、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合は身体拘束廃止委員会を中心に十分に検討を行い、身体拘束による心身の損害よりも、拘束をしないリスクの方が高い場合で、切迫性 非代替性 一時性の3要件の全てを満たした場合のみ、本人・家族への説明、同意を得て行います。また、身体拘束を行った場合は、その状況についての経過記録の整備を行い出来るだけ早期に拘束を解除すべく努力します。

(3) 日常ケアにおける留意事項

身体拘束を行う必要性を生じさせないために、日常的に以下のことに取り組みます。

- ① 利用者主体の行動・尊厳ある生活に努めます。
- ② 言葉や応対等で、利用者の精神的な自由を妨げないよう努めます。

③ 利用者の思いをくみ取り、利用者の意向に沿ったサービスを提供し、他職種協働で個々に応じた丁寧な対応をします。

④ 利用者の安全を確保する観点から、利用者の自由（身体的・精神的）を安易に妨げるような行為は行いません。

万が一やむを得ず安全確保を優先する場合は、身体拘束の委員会において検討します。

⑤ 「やむを得ない」と拘束に準ずる行為を行っていないか常に振り返りながら利用者にも主体的な生活をしていただくように努めます。

当施設では、利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが、身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努めます。







# 祝ご長寿



## やはぎ苑 「敬老会」

3F 介護職員 大城 勝

9月17日午後より、やはぎ苑2階食堂において敬老会が開かれました。

今年の表彰対象者は100歳を迎えられた特養2名と88歳を迎えられたケアハウス2名でした、100歳を迎えられた特養の入居者の方には国からの祝状と祝品、市からの祝金品が授与されました。今回の敬老会には間に合いませんでしたが、県からも記念品が届くことになっています。祝状と祝品が贈られ、授与された皆さんのとても嬉しそうな姿を見ていると見ているこちらも嬉しくなりました。

表彰者をお祝いしたいと授与式に参加された皆さんのなかには、立派な祝状をみて、「立派な表彰状だなあ、私も頑張ってもらわなあかなー」とお話しされている方も見えて、私たちも一生懸命お世話して、喜んでいて姿見たいと思います。

授与式の後には、敬老会に参加された皆さんと一緒にテーブルを囲んで、お茶やお菓子を食べながら談笑したり、当日、ボランテニアに来て頂いた方のオカリナ演奏にあわせて懐かしの唱歌や童謡を口ずさんだりして楽しんで頂きました。

これからも、入居者の方はもちろん、ご家族の方にも安心して生活を送って頂けるように頑張っていきます。



## 「くわがいオレンジカフェ」

くわがい居宅管理者 栗山誠

9月17日、今年度3回目の「くわがい オレンジカフェ」をくわがい居宅と東部地域包括支援センターとの共同で開催しました。

第一部は「スノードーム作り」を行いました。水のりの中に花を生ける作業では、生け花を生ける勢いで、花の向きや高さを細かく調整されたりとみなさん真剣な表情で取り組んでみえました。

物づくりの取り組みは、空間認識能力が必要で、作る順序、空間のイメージが必要になってきます。この空間認識能力を使うことは、右脳を刺激し活性化する作用があり、認知症予防にとって重要な作業となります。右脳の取り組み例として、買い物などの外出機会もその一つとされ、道の進み、どの角を曲がって行先にしたどの番へかや階段の何気ない行動に対して意識を持って行うことが、空間認識能力の維持にとって大切になります。

第二部として「じりつ」についてのグループワークを行いました。①みなさんの考える「じりつ」とは？②未来の自分が「じりつ」した生活を送るためには？についてグループワークを行いました。各課題に対して積極的に話し合い、意見をいただきました。



た。参加者の全員が女性と言う事もあって「家事をすること」「家族のために尽くすこと」等の意見が多々出ました。未来の自分については「もっと高い山に登りたい」と高い目標を持った方もみえました。

「じりつ」とは、自分の置かれている立場で「自分の役割を持って生活していく」「当たり前のこと」を当たり前に行う」といった普段の生活を続ける事です。その中で自分のできる能力がだんだん衰えてくると他の人の助けが必要となります。そのことにより役割、氣力を失って自分でやれないことが増えてくる。その過程で介護が始まっていくこととなります。

今後も「じりつ」を意識した生活の大切さを伝えながら在宅介護の現場に携わる中でその人のできる能力をしっかりと見極める目を養っていききたいと思えます。



令和元年度



# ショートステイくわがい家族会

日時：令和元年8月17日（土） 14：00～15：00  
会場：喫茶シャボン玉

1. あいさつ
2. 令和元年10月以降の利用料金の変更について
3. 施設のケア方針（入浴・排泄・食事）
4. 一日の過ごし方
5. リハビリ体操の体験
6. ご家族様との交流



リハビリ体操の体験の様子

今年度のショートステイ家族会は、10月以降の利用料金の変更についてご説明させていただきました。施設のケア方針や一日の過ごし方などの説明の後に、おやつの時間前に日課として実施しているリハビリ体操を実際に体験していただきました。最後にご家族様と施設職員との交流の機会を設けました。職員からは施設でのご様子、ご家族様からは自宅での様子や介護についての相談などの意見交換を行うことができ、とても有意義な時間となりました。今後もご利用者様、ご家族様に寄り添い、日々の生活を支えるサービスの提供ができるよう職員一同努めて参ります。

最後になりましたが、ご家族様にはご多忙の中ショートステイ家族会に参加いただいたことを心よりお礼申し上げます。

ショートステイくわがい 相談員 畔柳佐和子

## 令和元年10月以降の利用料金の変更

変更前	変更後（令和元年10月より）
併設型ユニット型短期入所生活介護費	併設型ユニット型短期入所生活介護費
要支援1 512 単位	要支援1 514 単位
要支援2 636 単位	要支援2 638 単位
要介護1 682 単位	要介護1 684 単位
要介護2 749 単位	要介護2 751 単位
要介護3 822 単位	要介護3 824 単位
要介護4 889 単位	要介護4 892 単位
要介護5 956 単位	要介護5 959 単位
短期生活サービス提供体制加算(Ⅲ) 6 単位	短期生活サービス提供体制加算(Ⅰ) 18 単位
介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 総単位数 8.3%	介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 総単位数 8.3%
	介護職員特定処遇改善加算(Ⅰ) 総単位数 2.7%
滞在費 1,970 円	滞在費 2,006 円
食費 1,380 円 (朝食 380 円、昼食 550 円、夕食 450 円)	食費 1,392 円 (朝食 384 円、昼食 554 円、夕食 454 円)
床屋代 1,000 円	床屋代 1,500 円

# グルーブホーム

## 敬老会



9がつ14か けいろukai かいさい  
9月14日に敬老会を開催しました。

かんしゃ ことば ひょうしょうじょう  
おひとりずつ、感謝の言葉と表彰状、

けんこう きがん はし  
これからの健康を祈願してコップ・箸を

そうてい いただ  
贈呈させて頂きました。





# かみさの家



けいろうかいご がり  
敬老会後に、ぶどう狩りいってきました。

もと とる たべる きあいじょうぶん のぞみ  
「元を取るまで食べるぞ!」と気合い充分で臨み、  
おおいかた 4ふさいじょうめ かた  
多い方では、4房以上召しあがられる方もおられました。

たべて わらってたのしく  
ぶどうをたくさん食べて、みんなで笑って楽しく、  
ひとなつ おもいで のこす できました  
ひと夏の思い出を残すことが出来ました♪



# ぶどうがり





# 第二やはぎ苑

## 学区敬老会



学区の敬老会へご招待いただき、9月14日、ご入居の皆さんやご家族と一緒に参加してきました。児童の皆さんとの触れ合い、雅楽の演奏、園児さんのダンスなどを楽しませていただきました。

## 第二やはぎ苑敬老会

9月16日に、第二やはぎ苑の敬老会を行いました。皆さんに表彰状と、お祝い品をお送りしました。



また、おやつバイキングをお楽しみいただきました。

## ミールラウンドの取り組み紹介

### ミールラウンドとは？

食べる機能が低下している方に対し、様々な専門職がチームになり、健康や認知の状態、食事内容、姿勢や体の動き、口腔ケアなどを評価し、口から食べる楽しみを少しでも続けられるように支援する仕組みのこと。

7月12日と、9月27日に、第二やはぎ苑でミールラウンドを行いました。



実際の食事の様子を観察しながら、各専門の視点から意見を出し合い、一番良いケアを見つけていきます。

誤嚥性肺炎を予防するためには、足の位置も大切なポイントです。



### 参加職種

- 【施設外の専門職】医師、摂食嚥下の認定看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、市役所長寿課など
- 【施設内の専門職】介護職、看護職、管理栄養士、機能訓練指導員、介護支援専門員

皆さんに、いつまでもおいしく食事を楽しんでいただけるケアに努めていきます。



# 小規模多機能 やはぎ苑

日頃より小規模多機能やはぎ苑の活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。  
第二・第三やはぎ苑特養と多機能では北野町矢田農園さんや地域の方々と施設前の田んぼで稲作を行っております。5月に田植えを行い、今回は『案山子作り』と『つけ縄作り』を行いました。



案山子の中身の新聞紙を丸めていただき



地域の方にも協力をいただき



例年以上のクオリティーと評判



昨年刈り取った藁でつけ縄を

利用者の方ができる作業はそれほど多く有りませんが、地域の方や職員と昔はああったこうだったとお話をしながら、時には予期せぬ利用者の方が誰よりも手際よくつけ縄を作られるのにびっくりしながら楽しいひと時を皆さんと過ごすことができました。

ふれあい新聞が発行される頃には稲刈りも終わり、美味しい新米をいただいたり、餅つきも企画しております。



小規模特別養護老人ホーム

# 第三やはぎ苑

祝 100 歳！



今年 100 歳を迎える方が表彰されました。  
まだまだ元気で過ごして下さいね。

今年も敬老会はおやつバイキングを行いました。  
栄養士さんが運んで来たワゴンには色とりどりの  
美味しそうなおやつがいっぱい。

皆好きなものを選んで好きなだけお代わりをして、  
とても喜んで食べていました。



これからの時期はイベントが盛りだくさんです。

10 月には稲刈りにハロウィンパーティー、11 月は収穫祭、12 月はクリスマス会。  
皆様の様子をまた報告しますので、楽しみにして下さい。



## 10月より利用料金が変わります

### やはぎ苑デイサービスセンター利用料金新旧対照

令和元年 10月 1日改定

(通所介護)

	旧 (改正前)	新 (改正後)	備 考
サービス提供時間区分	7時間以上9時間未満	7時間以上9時間未満	変更なし
サービス提供時間	9:20~16:30 (7時間10分)	9:20~16:30 (7時間10分)	変更なし
基本単位数	要介護1 645単位/日 要介護2 761単位/日 要介護3 883単位/日 要介護4 1,003単位/日 要介護5 1,124単位/日	要介護1 648単位/日 要介護2 765単位/日 要介護3 887単位/日 要介護4 1,008単位/日 要介護5 1,130単位/日	変更あり
加 算 等	・入浴加算 50単位/日	・入浴加算 50単位/日	変更なし
	・サービス提供体制強化加算Ⅰ 18単位/回	・サービス提供体制強化加算Ⅰイ 18単位/回	変更なし
	・介護職員処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に5.9%を加算	・介護職員処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に5.9%を加算 ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に1.2%を加算	変更あり
	・地域区分6級地 10.27円/単位	・地域区分6級地 10.27円/単位	変更なし
	・昼食代 (おやつ代含む) 550円	・昼食代 (おやつ代含む) 550円	変更なし

(介護予防・日常生活支援総合事業)

	旧 (改正前)	新 (改正後)	備 考
サービス提供時間区分	7時間以上9時間未満	7時間以上9時間未満	変更なし
サービス提供時間	9:20~16:30 (7時間10分)	9:20~16:30 (7時間10分)	変更なし
基本単位数	要支援1 1,647単位/月 要支援2 3,377単位/月	要支援1 380単位/回 1,655単位/月 要支援2 391単位/回 3,393単位/月 ※週1回程度(要支援1)は月4回まで、週2回程度(要支援2)は月6回までは単価報酬とし、それを超える利用については包括報酬	変更あり
加 算 等	・サービス提供体制強化加算Ⅰ (要支援1) 72単位/月 (要支援2) 144単位/月	・サービス提供体制強化加算Ⅰイ (要支援1) 72単位/月 (要支援2) 144単位/月	変更なし
	・介護職員処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に5.9%を加算	・介護職員処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に5.9%を加算 ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 1ヶ月の合計単位数に1.2%を加算	変更あり
	・地域区分6級地 10.27円/単位	・地域区分6級地 10.27円/単位	変更なし
	・昼食代 (おやつ代含む) 550円	・昼食代 (おやつ代含む) 550円	変更なし

## 新役員体制のご紹介

令和元年6月25日午前10時より、やはぎ苑1階会議室において定時評議員会が開催されました。開所当時から瑞穂会の運営にご尽力いただいた鈴木 清理事の退任にともない、慎重審議の結果、新たに近藤静子理事が選任され、現理事5名と現監事2名は再任となりました。

そして、同日午後1時30分より、新理事・新監事による理事会において、理事長の選任が行われ、手嶋寛人理事が理事長に再任されました。新役員体制については、以下のとおりとなりますので、今後とも変わらぬご支援ご理解のほどよろしくお願いたします。

理事長	手嶋 寛人	(再任)
理事	手嶋 孝良	(再任)
〃	後藤 光弘	(再任)
〃	大久保 和彦	(再任)
〃	細井 重子	(再任)
〃	近藤 静子	(新任)
監事	西 巧	(再任)
〃	水 越 元	(再任)

「ありがとうございました。」

ご寄付・ご奇贈 (令和元年七月〜令和元年九月)

柴田 好弘 様

### 編集後記

ワールドカップラグビー2019日本大会が9月20日開幕しました。日本の初戦はロシアと対戦して 30・10 で勝ちました。前回2015年イングランド大会では、「世紀の番狂わせ」といわれた南アフリカ戦をはじめ日本は予選で3勝しましたが、決勝トーナメントに進むことが出来ませんでした。この大会で一躍時の人となった五郎丸選手の悔し涙が今でも印象に残っています。今回は自国開催ですから、ぜひ決勝ラウンドに進んでほしいものです。

今回代表チーム31人の内15人が海外出身で、チームのスローガンに「ONE TEAM」を掲げました。主将のリーチ マイケルを中心に言葉や文化の違いを一つまとまらなければ、体力に差のある世界ランキング上位の対戦相手と互角に戦うことは出来ません。これは、福祉の世界でも同じで、人材不足に悩まされている中、外国人の職員が年々増えていきます。時には、言葉の違いや文化の違いでぶつかり合うこともあると思います。それでも勝ち残っていくには、お互いが理解しあい、認め合い、全職員が「ONE TEAM」となっていかなければならないと思います。

これからも、皆様から「選ばれる法人・施設」となれるように、「ONE TEAM」となって常に努力していきましょう。